

マイナンバースタート!

— セキュリティーと広がる利活用 —

前橋テルサ2F テルサホール

2015年10月21日(水) 13:40~15:30

入場無料

講師

前橋工科大学
地域連携推進センター 特任教授

しばた よしき
柴田 喜樹



テーマ

「マイナンバー制度のセキュリティーとその仕組み、
マイナンバーカードの民間での利活用について」

講演要旨

マイナンバー制度はこの10月5日にマイナンバー法が施行され、番号が国民全員に割り振られることによりスタートします。各市町村から送られてくる番号が記載された通知カードと引き換えに2016年1月からはICチップが搭載された「個人番号カード(マイナンバーカード)」が入手できるようになり、税・社会保障・災害対策の3つの分野での個人番号の利用が開始されます。

マイナンバーカードでは自治体や民間での利用も考えられており、総務省が6月26日に開催した「ICT街づくりサミット(地方版)@前橋」では、マイナンバーカードの利活用による地方創生の成功事例として前橋市を含む全国5地域での実証事業が紹介されました。これらはマイナンバーカードを使うことにより、市民がサービスを安全に便利に使えるように工夫されたもので、全国展開が期待されます。

本講演では、セキュリティーから見た海外の状況や日本の仕組みの先進性と安全性についてわかりやすく解説し、更にマイナンバーカードの民間での利活用について考察します。

【講師略歴】

1984年 シャープ(株)入社 IC事業本部開発部長、情報通信事業本部セキュリティーソリューション開発センター所長を歴任し、携帯電話用LSI、住基カード用LSI、電子パスポート用LSI、IC免許証リーダなどセキュリティー関連技術やLSIの開発に従事。

2013年より前橋工科大学特任教授に就任し、マイナンバーカードの利活用に関する実証事業(総務省:前橋ICTしるくプロジェクト他)を推進、現在に至る。



ごあいさつ

一般社団法人 群馬県情報サービス産業協会 会長 **秋山 力** あきやま つとむ

日本経済は、デフレからの確実な脱却と経済再生を目指す過程の中で緩やかな回復基調にあるものの、まだ景気回復の足踏み感やアベノミクス効果の遅延感が払拭できない状況にあります。こうした中、経済の好循環を確かなものとすべく、日本再興の実現への期待が高まりつつあり、このような期待を現実のものとする最大の鍵が、ICTを軸とするイノベーションの実現です。その意味でICTを担う我々情報サービス産業は、かつて経験したことの無い重い役割と責任を担う環境に置かれているといえます。

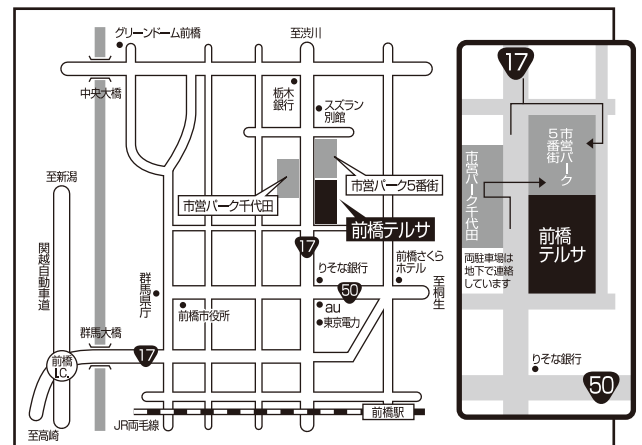
さて、群馬県情報サービス産業協会は、県内情報サービス企業が業界の振興並びに地域の情報化を推進することを目的として設立し、以来、ICTの恩恵を地域社会に浸透させ、情報化支援を通じて県内産業の活性化にいささかなりとも貢献してまいりました。

今回で第24回となる『ぐんま情報化フォーラム』は、前橋工科大学 地域連携推進センター 特任教授の柴田喜樹先生をお招きし、「マイナンバースタート!」ーセキュリティと広がる利活用ーをメインテーマとしてご講演をいただきます。このフォーラムが地域産業の活性化と県民の一層の豊かさの実現にすこしでも寄与できれば幸いに存じます。最後に開催にあたり関係各位のご厚情に心からお礼申し上げます。

■プログラム

- 12:40~ **受付開始**
- 13:40~13:55 **開会式**
- 14:00~15:30 **講演**

■会場ご案内図



■会場／前橋テルサ2F テルサホール(駐車場無料) ※駐車券を受付へお持ちください。
〒371-0022 前橋市千代田町2-5-1 TEL.027-231-3211
※お車で越しの方は最寄りの市営パーク5番街(5Fでテルサと連絡しています)・市営パーク千代田をご利用ください。

■ぐんま情報化フォーラム参加申込書

第24回ぐんま情報化フォーラムに参加希望の方は、下記に必要事項をご記入の上、ファクス又はE-mailでお申込みください。(入場券は発行いたしません。自由席となります。申込者が定員を超えた場合は入場お断りのご連絡をいたします。)

[企業・団体名]	[業種]
[参加者氏名]	
[住所]	[Eメール]
[TEL]	[FAX]

GISA

FAX.027-226-7164 E-mail: gisa@sunfield.ne.jp

主催/ 一般社団法人群馬県情報サービス産業協会
お問い合わせ/ 一般社団法人群馬県情報サービス産業協会 事務局 TEL.027-226-7165